

令和8年度 第3号

天小だより

命輝き 笑顔あふれる 天神川小学校

令和8年6月9日

伊丹市立天神川小学校

校長 徳田 達郎



ホームページ

修学旅行、無事に実施することができました

台風6号の影響により、前日から警報が発令される緊迫した状況となりました。

当日の早朝、引率教員が天神川と天王寺川の水位、および通学路の倒木などの安全確認を行い、登校に支障がないと判断した上で、修学旅行の実施を決定いたしました。

一時は新幹線の運休や大幅な遅延も覚悟しておりましたが、幸いにもダイヤの乱れはまったくなく、計画していた全行程をすべて予定通り実施することができました。

詳しくは、本校ホームページ【修学旅行特集】をぜひ、ご覧ください。

早朝からの同伴登校や、帰着時のお迎えなど、ご協力をいただきました保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。有難うございました。

【修学旅行特集】



修学旅行実行委員の言葉

出発式と帰校式における、修学旅行実行委員の挨拶が実に見事でした。

事前にスピーチ原稿をしっかりと準備していましたが、本番ではそれを手に持つことなく、堂々と6年生の仲間たちに向かって語りかけていました。

その立派な姿と、思いの込められた言葉に、私は鳥肌が立つほどの深い感銘を受けました。

2人のスピーチ原稿を紹介いたします。

【出発式】 修学旅行実行委員

皆さん、おはようございます。今日から待ちに待った修学旅行です。

この修学旅行に向けて今日までたくさんのことを学習してきたと思います。

広島でどんな事が起きたのか、戦争とはどういうものなのか。

実際に広島の地に立ち、目にし、感じる事で、より深く学習できると思います。

実際に目にする事で、こわい、見たくないと思う人がいるかもしれません。

ですが、今の私達に出来ることとして、戦争とはどんなものなのかをしっかりと理解し、天神川小学校のみんなに伝えていく事が大切です。

また、2日目の宮島では、世界遺産の厳島神社を自分の目で見て、歴史にふれ、伝統のある街並みを班のみんなで歩いたりお土産を買ったりと、楽しみな計画がたくさんあります。

なので、旅を成功させるために、人の話を聞く事、時間を守る事など一人ひとりがルールをしっかり守り、全員で協力しながら過ごしましょう。

そして、今からみんなで広島に行ける事は、準備してくれた先生方、お家の方のおかげです。

感謝の気持ちを忘れず、真剣に学び、そして目一杯楽しみ、成長した姿で、明日ここにもどってきましょう。

この仲間で過ごす小学校生活最後の1泊2日の旅を、思い出に残る最高の旅にしましょう。

【帰校式】 修学旅行実行委員

私は修学旅行で広島へ行き、戦争の恐ろしさを知りました。

修学旅行に行く前、私は広島について、原爆が落とされた場所ということは知っていました。

でも、実際に平和記念資料館や原爆ドームを見学して、本やテレビでは分からない戦争のこわさを感じました。

資料館では、原爆によって多くの人の命や生活が一瞬で失われたことを知り、とても悲しい気持ちになりました。

展示されていた写真や当時の物を見て、「平和は当たり前ではないんだ」と強く感じました。

原爆ドームを見た時には、今も残る建物の姿から、戦争が本当にあった出来事だということが伝わってきました。

そして広島の人々が、平和への願いを大切にしていることも知りました。

私は、これからも平和について考え、周りの人を大切にしていきたいと思いました。

また、修学旅行では、友達と協力することの大切さも学びました。

班行動では、みんなで相談しながら行動したり、時間を考えて行動したりすることが必要でした。

うまくいかないこともありましたが、協力することで楽しく過ごすことができました。

ホテルで友達と話したことや、一緒にご飯を食べたことも、とても良い思い出です。

この修学旅行を通して、私は平和の大切さと、仲間と協力することの大切さを学びました。

翼願空（ピース）を忘れず、これからの生活に生かしていきたいです。